ルル 追加 HO E ツバメが出ていったあとの静寂が、なぜか、懐かしかった。

彼が語った言葉に、嘘はないのだろう。

本当に病気の母親がいて、そのためにここへ来て。

彼の嘘に傷つかなかったわけじゃない。

心の奥底に、鈍い痛みがあるのは感じていた。

それでも、万能薬を誰に使うのか――。

薬を返してもらうことだってできたのに、彼の母親に薬を使うことを、私は良しとした。

これでいいはずだ。

自分の選択を信じるように、私は自身の手を握った。

ツバメはここに来た目的を果たした今、リーファにとどまる理由は なくなった。

母親が回復したら、家族で過ごすことができるだろう。

けれど、私が「行って」と制止しなかったら、彼は――私の傍へ、 来てくれていたのだろうか。

もしもまた、ツバメと会えたときは。

そのときはどうしたい?

裏切られても、盗まれても、消えることのなかったこの淡い気持ちを、私は――。

## 選択肢

1.気持ちを胸の内にしまう2.気持ちを伝える

シーンを進めるとココフォリア上に選択肢が表示されるので、 自身の選択を左クリックしてください。